



SEIG

# LIB-NEWS

2019年9月7日発行

聖学院中学校高等学校

図書委員会

## Topics

東京・学校図書館スタンプラリーが聖学院で実施されました。最終日は、たくさん見学者が来てくれて、とても大変でしたが、嬉しかったです。

中・高校 I年 C組 氏名 K. I.

## Topics

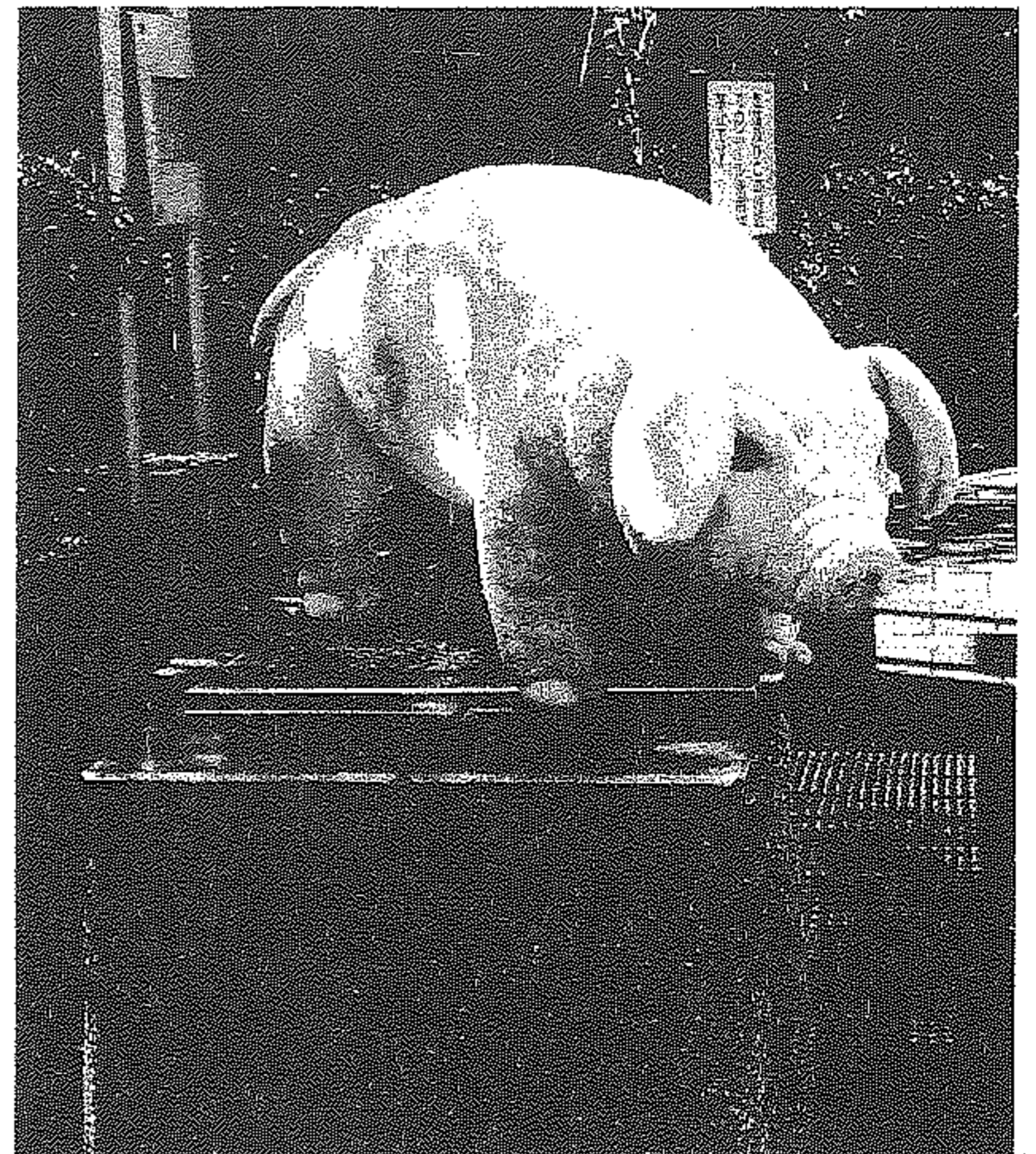
8月1日、第8回 東京・学校図書館スタンプラリーの一環として宝仙学園にお邪魔しました。普段他の学校の図書館には入れないのでとてもためになりました。ビブリアで紹介された本を買って読んでいます。

中・高校 II年 E組 氏名 N. T.

## Topics

本のリクエストは積極的に。自分が面白いと感じた本を手に入れるチャンスなので、ぜひ有効活用を!!  
ちなみに私はこれを使って(半ば自分しか読まないような)マイナーかつマニアックな本を大量に入れたぞ!

中・高校 III年 D組 氏名 K. R.



木陰にたたずむぶた館長

57 理科I先生 → 58 国語科U先生 → 59 数学科H先生 → 情報科I先生 → 61 理科I先生 → 62 英語科N先生 → 63 美術科I先生 → 64 英語科H先生 → 65 理科I先生 → 66 数学科K先生 → 67 理科S先生 → 68 技術科T先生 → 69 英語科S先生 → 70 英語科H先生 → 71 英語科I先生 → 72 英語科K先生 → 73 英語科L先生 → 74 英語科M先生 → 75 英語科N先生 → 76 英語科O先生 → 77 英語科P先生 → 78 英語科Q先生 → 79 英語科R先生 → 80 英語科S先生 → 81 英語科T先生 → 82 英語科U先生 → 83 英語科V先生 → 84 英語科W先生 → 85 英語科X先生 → 86 英語科Y先生 → 87 英語科Z先生 → 88 英語科AA先生 → 89 英語科AB先生 → 90 英語科AC先生 → 91 英語科AD先生 → 92 英語科AE先生 → 93 英語科AF先生 → 94 英語科AG先生 → 95 英語科AH先生 → 96 英語科AI先生 → 97 英語科AJ先生 → 98 英語科AK先生 → 99 英語科AL先生 → 100 英語科AM先生

◎先生方のリレーエッセイ◎ 第71回

社会科 伊藤 航大 先生

よいチームって何だ？

私が大学院に進学したのは、教育学をより学びたい、身につけたいという希望からだ。当時私は、教育学とは、ずばり授業力に関することが中心だと捉えていた。いかにうまく授業をするか、どれだけ教科に関する専門性を持ち合わせているかが求められているのだと考えていた。しかし、大学院での授業は「そもそも授業とは何か？」「なぜ学級が存在するのか？」など、授業とは異なる視点での教育を捉えた授業が多かった。私が考えていたものとは明らかに異なる教育学が身の回りに溢れるようになった。

徐々に私は周りに感化され「なぜ学級は存在するのか？」「将来学級担任になったとき、私はどう接すべきか？」などと考えるようになった。そんなときに出会ったのが長尾彰『宇宙兄弟「完璧なリーダー」は、もういない。』（学研プラス、2018）だ。リーダーに関する考え方についての本ではあるが、それはつまり「集団」に関する本ということでもある。一般に、日本で「リーダー」といえば「先導する人」「集団を引っ張っていく人」のように捉えられがちである。だが、この本ではいわゆるリーダーというよりもむしろファシリテーターという見方をしている。つまり「引き出す人」「促進する人」という役割だ。この考え方の転換を、漫画『宇宙兄弟』を例に説明しており、状況の想定もしやすい。特に印象に残ったのが、集団で「ランニングする」シーンで、メンバーがそれぞれバラバラに走ってしまい、チームになっていないという困難に直面した。改善のために、これまでのリーダーであれば「まとまって走れよ」と言ってしまうがちなが、このリーダーは「目標時刻ぴったりには到着しなければならないが、時計を持つのは自分だけで、どうすれば全員で同時にゴールできるか」という課題をメンバーに出しただけである。この課題を出したことで、必然的にチームの目標が「走ること」から「チームとしてまとまって走ること」に変わり、チーム力の向上につながったわけである。

その他大勢を率いる優秀なリーダーという枠組みから、チームをよくするファシリテーターという転換は、間違いなく私の教育観を大きく変えた。今後の社会で活躍する皆さんにも必要なマインドが書かれている。中高生でも読める文体、内容なので、ぜひ読んでいただきたい1冊である。

余談よだん

集団をどのようにマネジメントするかについて、よく経営学の面から議論されます。その中の代表的な存在がピーター・ドラッカーです。

ドラッカーが書いた「マネジメント」を題材にして書かれた小説「もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら」は、中高生向けに書かれていて、ドラッカー関連の図書の中では、とても読みやすくなっています。図書館でも所蔵しているので、どうぞ。